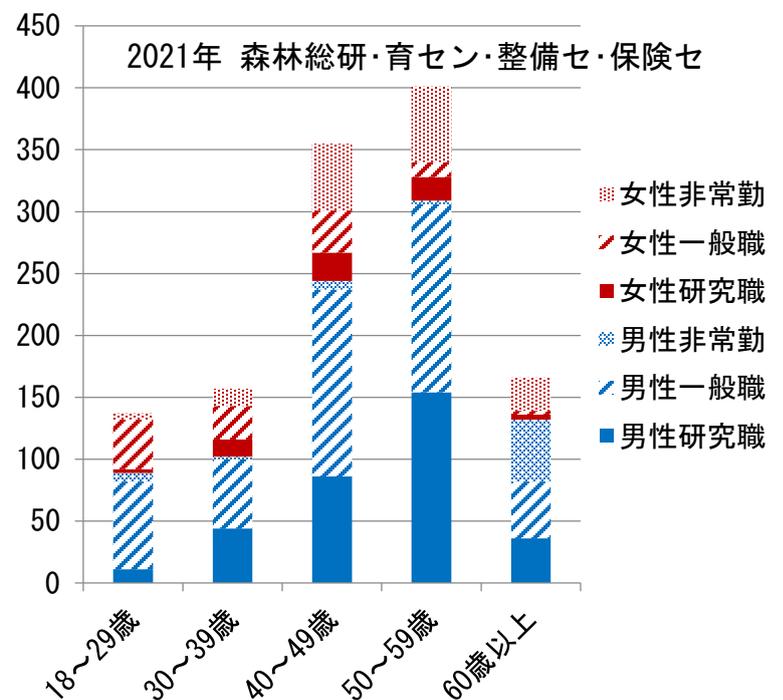
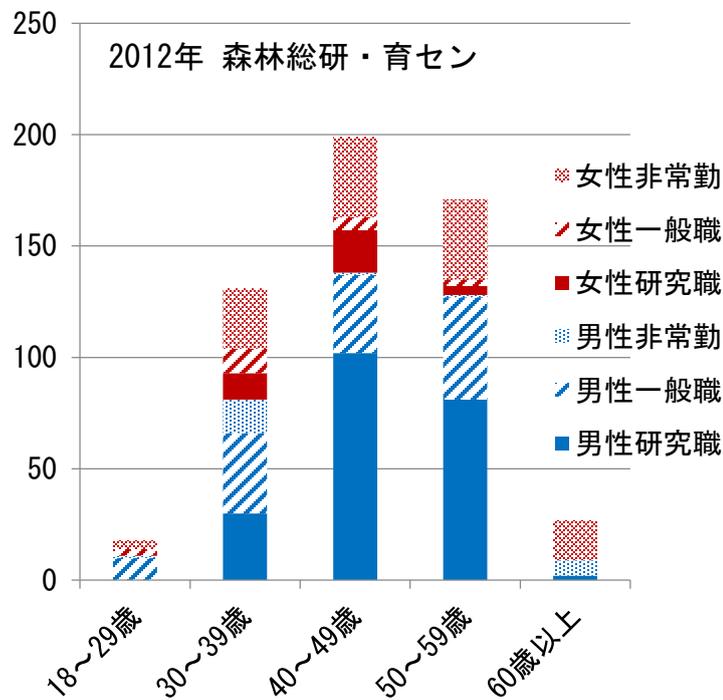


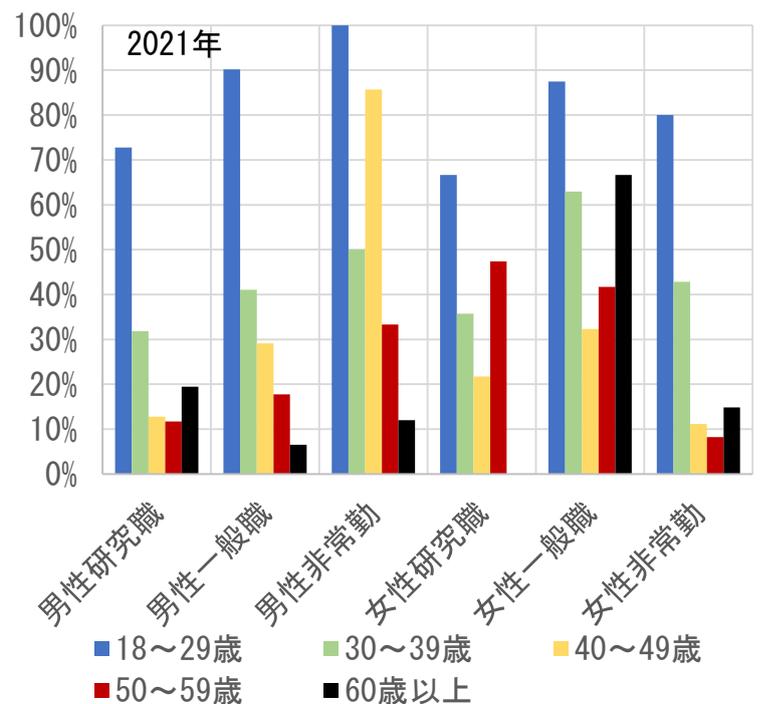
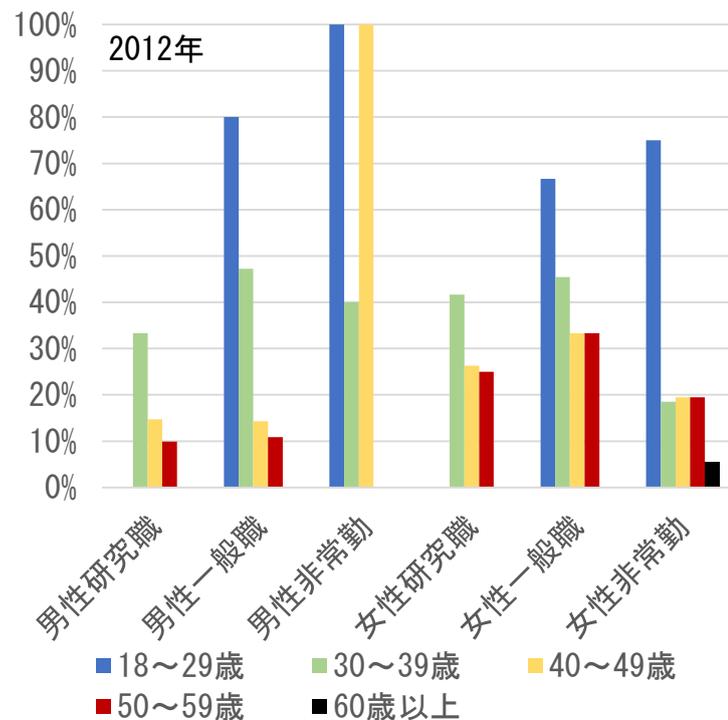
# 2012年と2021年の男女共同参画意識調査結果の比較

職種・男女・年齢階層別回答者数（回収率2012年：50%，2021年：83%）



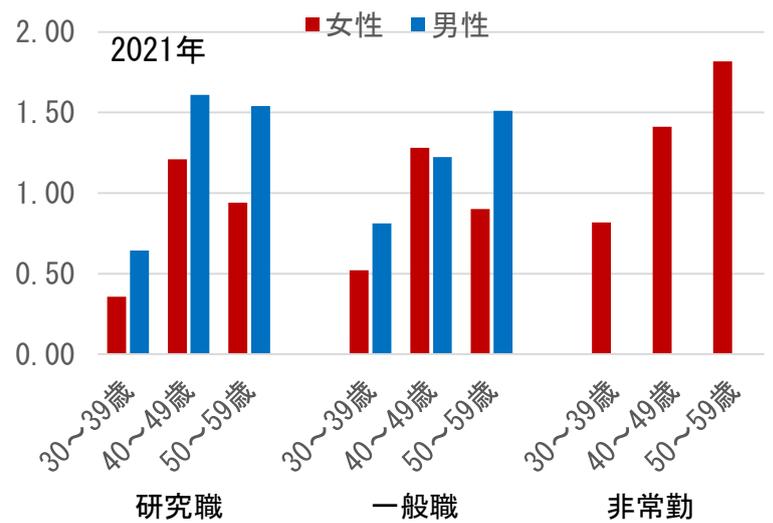
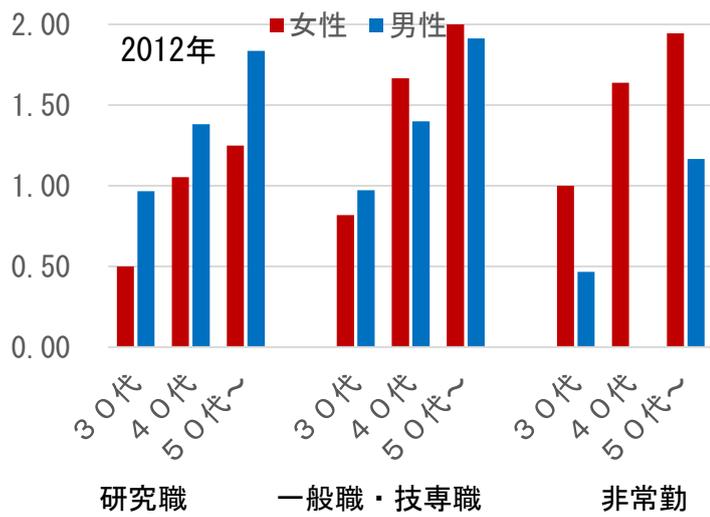
2021年には研究職の年齢構成が50代に偏り、若い年代の研究職が著しく少ない。常勤職員では年齢階層が上に行くほど女性の比率が少なく、50歳以上では1割未満。各年代の女性比率は2012年に比べて2021年の方が少しずつ高まっている。

## 配偶者の有無（配偶者がいない職員の率）



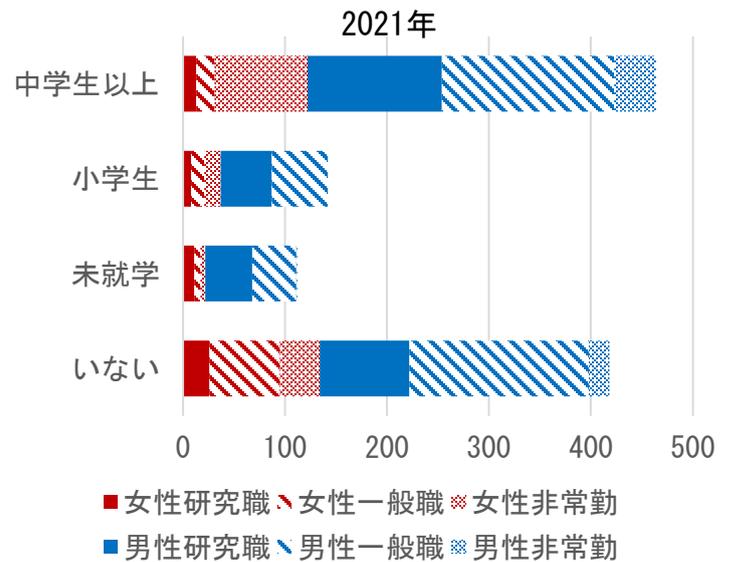
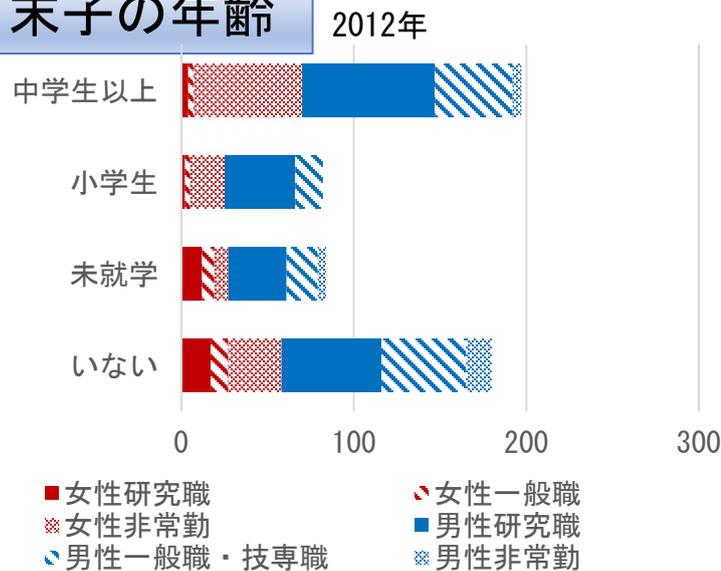
若い年代で配偶者がいない率が高いほか、40歳以上では女性一般職と男性非常勤で配偶者がいない率が男性常勤職よりも顕著に高く、その傾向は2021年の方が2012年よりもさらに進んだ。

## 職種別・年代別の平均子供数



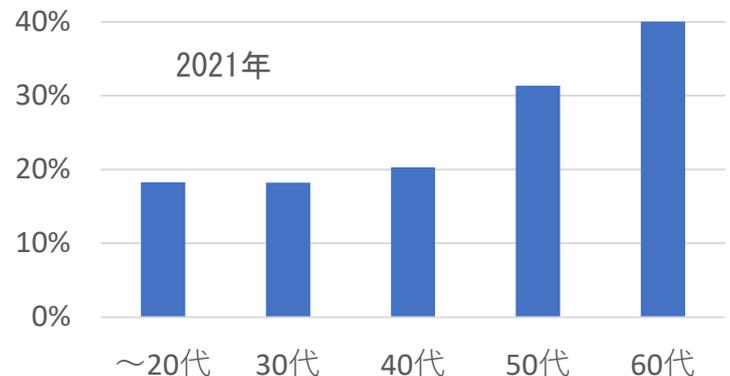
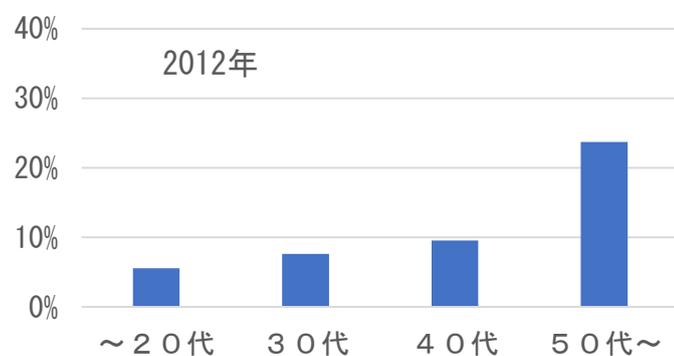
2021年には少子化が進んだ。とくに女性一般職で子供がいない率が高まり、平均子供数も減少した。女性研究職では40代の方が50代よりも子供がいる率が高い。50代常勤職女性の子供の数は平均1人未満に対し、非常勤女性では1.82人。男性研究職の40歳以上と女性非常勤は子供がいる率が高い。常勤の女性が子育てしにくい状況を反映しているのか。

## 末子の年齢



未就学児や小学生のいる職員の割合が低い。

## 要介護者がいる割合



2021年には要介護者がいる割合は各年代とも2012年よりも高まっている。とくに50代では30%あまり、60代では40%と高い。

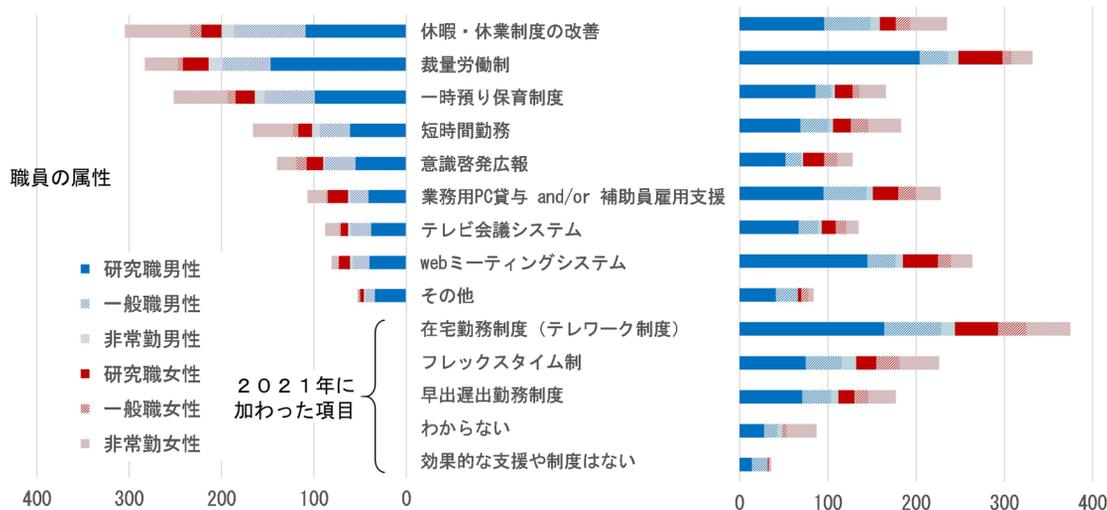
# 男女共同参画意識調査 2012 vs. 2021

仕事と生活の調和のため、どの支援や制度が効果的だと思いますか？（複数回答）

2012年 (n=543)

2021年 (n=805)

(単位：人)

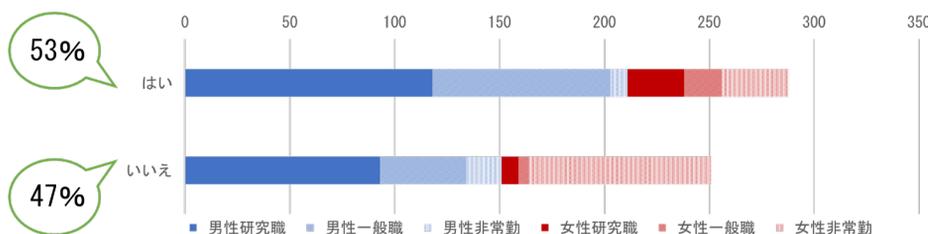


2012→2021の変化

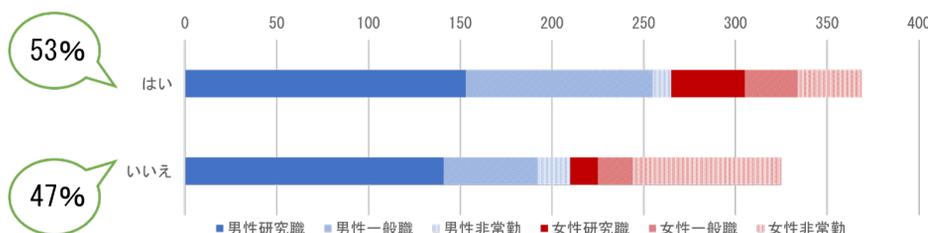
「裁量労働制」「Web会議システム」「業務用PC・補助員雇用」の順位が上昇  
「Web会議システム」は、すべての職員属性で回答者の割合が増加。

一時預かり保育施設を出張時に利用できるの知ってる？

2012年



2021年



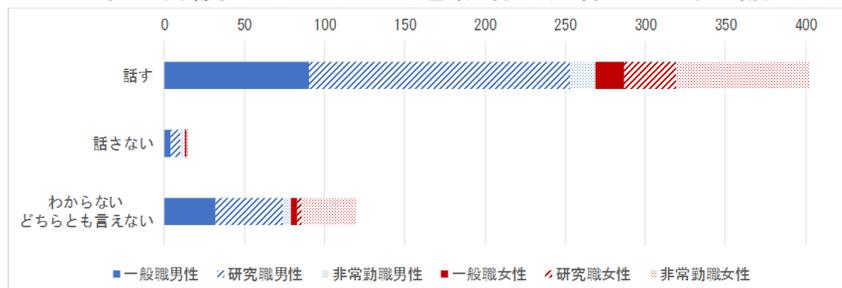
「いいえ」よりも「はい」が多いが、認知度は変わっていない(T^T)  
出張時にもどんどり、すぎのこ、契約した民間保育施設を一時預かり保育施設として利用可能です！



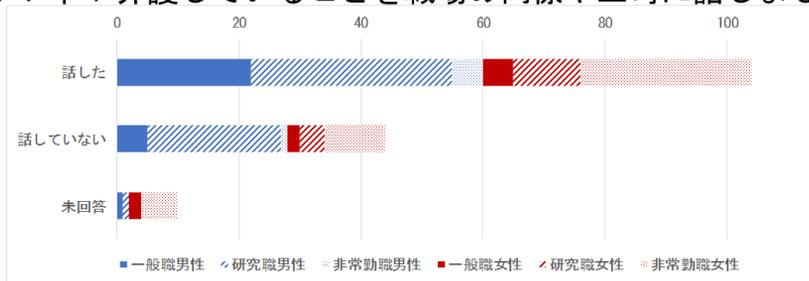
# 男女共同参画意識調査 2012 vs. 2021

## 介護

2012年：介護していることを職場の同僚や上司に話しますか



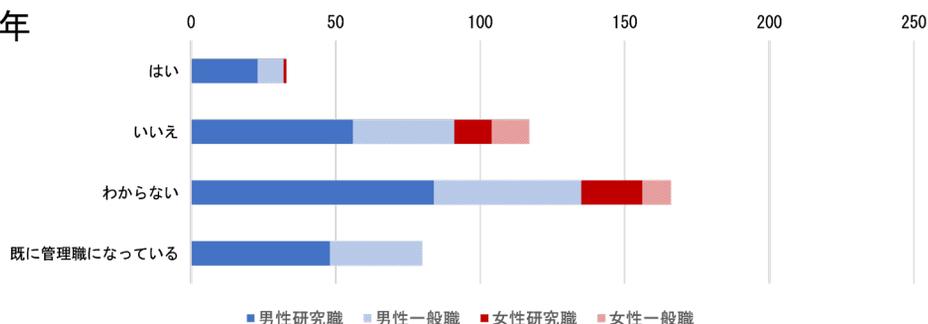
2021年：介護していることを職場の同僚や上司に話しましたか



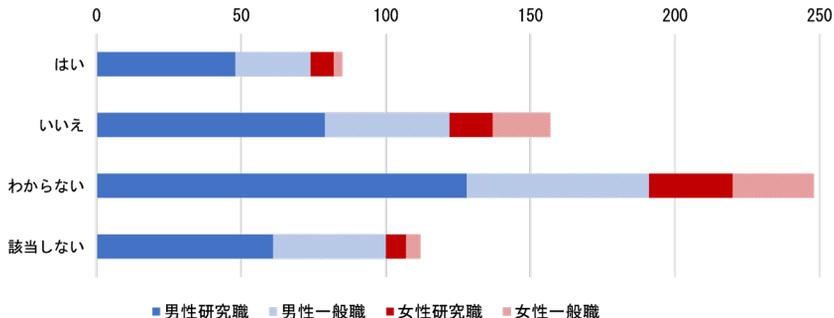
2021年のほうが「話していない」人数が明らかに多い。その理由として、2021年はコロナ禍の影響で、在宅勤務や交互出勤などが増え、同僚や上司とのコミュニケーションがなかなか取りにくかったのかもしれない。2012年の設問は「自分が介護することになったら・・・」としているが、2021年の調査は「介護経験のある方に」として聞いている。この辺りの違いも調査結果に反映されているのかもしれない。

## 管理職になりたいですか？

2012年



2021年



「はい」よりも「いいえ」が多い傾向に変わりはないが、2012年に比べて2021年は「はい」の割合が増加している。

